

「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」 課題番号 1510

「相似地震再来特性の理解に基づく地殻活動モニタリング手法の構築」

平成 27 年度研究集会プログラム

日時：平成 28 年 1 月 25 日（月）～26 日（火）

場所：東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター 別館第一会議室

1 月 25 日（月） 13:30-18:00

13:30 - 14:00 内田 直希（東北大学）

「繰り返し地震および GPS データから推定された東北沖プレート境界での周期的スロースリップ」

14:00 - 14:30 野村 俊一（東京工業大学）

「局所分断スプライン関数によるプレート沈み込み速度の推定」

14:30 - 15:00 有吉 慶介（海洋研究開発機構）

「繰り返し地震の揺らぎから紐解く余効すべりの特徴」

15:20 - 15:20 （休憩）

15:20 - 15:50 田中 昌之（気象研究所）

「繰り返し回数の少ない相似地震の発生確率予測に BPT 分布モデルを適用した場合の成績」

15:50 - 16:20 岡田 正実（気象研究所）

「相似地震発生予測に使用する小標本論対数正規分布モデルの改良について」

16:20 - 16:50 ° 小泉貴広・大久保寛・川上大喜（首都大学東京）・内田直希・竹内伸直・松澤暢（東北大学）

「直交 3 成分地震波データを用いたコヒーレンス解析による相似地震識別法の評価」

16:50 - 18:00

その他の話題提供

1 月 26 日（火） 9:30-11:40

9:30 - 10:00 松原 誠（防災科学技術研究所）

「防災科研における相似地震抽出システムの構築にむけて」

10:00 - 10:30 山下 裕亮 (京都大学防災研究所)

10:30 - 11:00 五十嵐 俊博 (東京大学地震研究所)

「日本の地震観測網で捉えられた世界の中規模相似地震活動」

11:00 - 11:40

議論および今後の予定